

「見えない問題」を
ディスプレイが解消する

この夏、第2世代のメッシュ・インターコム「50S/R」をリリースしたばかりのセナから、早くも今秋、新世代のベーシックモデル「5S」といっても過言ではないモデルが登場する。それが「5S」だ。5Sは携帯電話での通話、音楽やナビの音声案内といったスマホの音声再生、FMラジオに加えて、最大3人の相手と1対1のインターコム通話ができるベーシックモデル。卵のような「コロ」としたボディに、大きなジョグダイヤルが付いたスタイルは、セナ・インターコムが日本に上陸して間もない頃に発売され、多くのユーザーに愛されてきた「SMH5」シリーズのデザインを踏襲している。最大の特徴は、ジョグダイヤルの前に液晶ディスプレイを搭載したことだ。5Sの液晶ディスプレイには、「今動作している機能」がアイコンで表示される。そのため、「ペアリングが完了したか?」「誰とつながっているか?」といったことが一目で分かる。これまでのバイク用のインターコムにディスプレイを備えたモデルは皆無で、アプリを除けば操作はすべてスピーカーから聞こえるビープ音や音声ガイ

ダンスといった「耳」に頼るしかなかった。

休日の朝、多くのライダーが集まる場所とするサービステリアで、インターコムのペアリングに戸惑うといったトラブルも、Bluetoothウースという目に見えない無線を、音を頼りに接続するから起こること。だから、多くのユーザーが「インターコムは難しい」「使い方がよく分からない」と感じていたわけだ。5Sはそんなユーザー共通の悩みを、視覚化することで解決してくれた画期的な機種といえる。

さらに5Sは、音楽やナビ音声を聞きながらインターコム通話ができる「オーディオマルチタスク」やHDオーディオなど、ハイエンドモデル並みの機能を搭載。サウンドも50S/Rと同じプレミアムHDスピーカーを採用し、イコライザー機能も使える。さらにFMラジオを相手と共有できる「FMシェアリング」機能も新たに加わっている。

セナは50S/Rのようなハイエンドモデルだけでなく、Bluetoothウースのリーズナブルな製品にも力を入れている。業界で初めてともいえるディスプレイを、「5S」というベーシックモデルに投入してきたのは、そんなセナのBluetoothウース・インターコムに対するこだわりの表れだ。

Data
価格：未定

発売日：2020年秋
通信距離：最大700m
通話時間：7時間 充電時間：1.5時間
サイズ：76mm×48mm×30mm (メインモジュール)
重量：48g (メインモジュール)



これまで
愛されてきた
SMH5を
現代化!

SENA 5S

セナのロングセラー「SMH5」が、最新のテクノロジーでリニューアル!
その名も「5S」は、単なるベーシック・インターコムという位置づけにとどまらない
バイク用のインターコムとして初めてともいえる、液晶ディスプレイを搭載
インターコムの状態が目で見えて分かるという、セナならではの独創的なモデルだ!

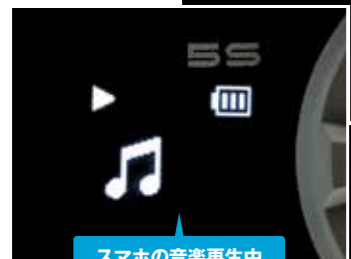
写真/増川浩一 文/八百山ゆーすけ
問:セナBluetoothウースジャパン <https://senablueooth.jp>

接続状況が目に見え
これでもう、操作で迷わない!



5Sの状態が
アイコンで分かる

ディスプレイを見れば接続している機器と、今何のモードなのかが一目で分かる。画面上部は、接続中の電話やインターコムの相手、音楽プレーヤー、ユニバーサルインターコムの相手、バッテリー残量を表示。下段に音楽やラジオ、インターコムといったモードや、ペアリング中といった状態がアイコンで表示される



スマホの音楽再生中



ラジオを再生中

インターコム通話中



50S/Rをはじめ最新のセナ・インターコムに採用されているプレミアムHDスピーカー。クリアで豊かな低音と迫力の音量を実現した

マイクは外付けboom型とケーブル型を同梱。フルフェイスとジェット、フリップアップ式とどのヘルメットにも対応可能だ

ヘルメットへの取り付けは、帽体を挟み込む形のクランプユニットと、帽体に貼り付けるタイプのマウントアダプターを選べる

SENAの2人通話用モデル



SF2 価格:1万9580円



SF1 価格:1万6280円



3S
価格:1万3640円 (3S-B)
1万4740円 (3S-W)

セナ製品は5Sをはじめ、Bluetoothウース・インターコムのベーシックラインも充実している。ヘルメットに装着すると「見えないインターコム」となる「3S」や、スリム&コンパクトで3ボタンの「SF1」「SF2」と、ユーザーの好みや使い方に応じて、インターコムを選ぶことができる